

## 2. 2 協会・支部等の活動事例（第3条の表彰）

各地の建設業協会や支部・部会は、自然災害の応急復旧活動を始め、地域活性化の取組、河川・道路清掃などの環境美化、各種イベントの開催等による住民とのふれあいなど、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

令和2年度に顕彰した協会・支部等のこうした活動事例の中から、2. 1で紹介した代表事例のほか、ここでは次の21事例を紹介します。

| No.   | 都道府県 | 協会・支部等                    | 活動内容                    |
|-------|------|---------------------------|-------------------------|
| A1-01 | 茨城県  | (一社)茨城県建設業協会大子支部          | 令和元年台風19号における災害復旧支援活動   |
| A1-02 | 群馬県  | (一社)群馬県建設業協会              | 令和元年台風19号における災害復旧と情報発信  |
| A1-04 | 新潟県  | (一社)新潟県建設業協会新発田支部・新潟支部    | 令和元年台風15号の災害復旧への資材提供    |
| A1-05 | 佐賀県  | (一社)杵島建設業協会               | 令和元年8月佐賀豪雨災害における応急復旧活動  |
| A2-01 | 福島県  | 福島県建設業協会若松支部              | 小学校のグラウンド整備活動           |
| A2-02 | 熊本県  | 熊本県建設業協会人吉支部              | サイクリング大会の共催             |
| A3-01 | 岩手県  | 岩手県建設業女性マネジングスタッフ協議会大船渡支部 | 道路の清掃美化と危険箇所の確認活動       |
| A3-02 | 山形県  | 山形県建設業協会鶴岡支部青年部           | 児童生徒とともに河川・公園の清掃美化活動    |
| A3-03 | 栃木県  | (一社)栃木県建設業協会日光支部          | 道路の清掃美化活動               |
| A3-04 | 栃木県  | (一社)栃木県建設業協会烏山支部          | 「山あげ祭」に向けた道路の清掃美化活動     |
| A3-05 | 栃木県  | (一社)宇都宮建設業協会              | 河川・道路の清掃美化活動            |
| A3-06 | 山梨県  | (一社)甲府地区建設業協会             | 道路の清掃美化活動               |
| A3-07 | 岐阜県  | (一社)郡上建設業協会               | 河川の清掃美化と植栽活動            |
| A3-08 | 富山県  | 富山県建設業協会氷見支部青年部会          | 日本の渚百選「松田江の長浜」の清掃美化活動   |
| A3-09 | 滋賀県  | (一社)滋賀県建設業協会甲賀支部          | 甲賀市立「みなくち子どもの森」の除草活動    |
| A3-10 | 京都府  | 京都府建設業協会京丹後支部             | 道路の清掃美化活動               |
| A3-11 | 山口県  | 山口県建設業協会玖珂支部              | 河川の清掃美化活動               |
| A4-01 | 栃木県  | (一社)栃木県建設業協会芳賀支部          | 高校生を対象とした仕事説明会・現場見学会の開催 |
| A4-02 | 栃木県  | (一社)栃木県建設業協会那須支部          | 小学生を対象とした防災講習会への協賛      |
| A4-03 | 長野県  | (一社)長野県建設業協会青年部会・女性部会     | JR長野駅での「土木の日」イベント開催     |
| A5-01 | 岐阜県  | (一社)揖斐建設業協会               | C S F（豚熱）発生に伴う防疫措置対応    |

## (1) 災害復旧支援活動

### 事例 A1-01 : 茨城県

#### 令和元年台風 19 号における災害復旧支援活動 ((一社)茨城県建設業協会大子支部)

令和元年 10 月 12 日、関東・東北地方に記録的な大雨をもたらした台風 19 号によって、茨城県大子町では、久慈川と押川が氾濫し、町全体で約 600 戸が浸水被害に遭った。

茨城県建設業協会大子支部は、12 日 21 時、県大子工務所からの要請で、道路の封鎖作業に着手、翌 13 日早朝、パトロールによって被害状況を把握、報告したところ、県や町から「自らの判断で応急復旧すること」との指示を受け、土砂や流木の撤去作業を開始した。途中、同協会の土浦、潮来、鉾田の 3 支部からの応援も受けながら、12 月 10 日までの間、延べ 370 人が土砂撤去や災害廃棄物収集運搬、浄水場等の復旧作業に当たり、安全な通行確保と住民の生活確保に貢献した。



町道の土砂撤去



災害廃棄物収集運搬

### 事例 A1-02 : 群馬県

#### 令和元年台風 19 号における災害復旧と情報発信 ((一社)群馬県建設業協会)

令和元年台風 19 号は、群馬県でも多くの被害をもたらし、群馬県建設業協会の会員は、昼夜を問わず復旧作業に従事した。その際、同協会でも運用している災害情報共有システム「ぐんケン見張るくん」により、被害状況や復旧作業の様子をリアルタイムにツイッターで発信したところ、大きな反響があり、フォロワーが 3,000 人以上増加するとともに、多くの感謝の言葉が寄せられた。また、県内の新聞、テレビ、ラジオ放送などでもツイッター発信について報道され、建設業の役割の大きさが改めて認知された。



ツイッターによる被害情報発信



道路の復旧作業

## 事例 A1-04 : 新潟県

### 令和元年台風 15 号の災害復旧への資材提供 ((一社)新潟県建設業協会新潟支部・新潟支部)

令和元年台風 15 号は、千葉県を中心に広範囲にわたって暴風雨被害をもたらした。

新潟県建設業協会は、北陸地方整備局からの要請に基づき、台風で屋根が壊れた家屋を養生するための建設資材を、新潟支部及び新潟支部の協力により緊急提供した。

この提供要請があったのは 9 月 14 日 14 時で、翌 15 日朝には被災地に向けて発送できることが条件であったため、同協会は、各支部の災害復旧用資材の保有状況に基づき、提供可能な両支部に提供を依頼した。両支部の会員 14 社は、ブルーシート 1,730 枚、土のう袋 14,860 袋、トラロープ 76 巻を新潟の搬出場所に集結させ、翌朝の発送に間に合わせた。



集結させた災害復旧用資材



被災地への発送準備

## 事例 A1-05 : 佐賀県

### 令和元年 8 月佐賀豪雨災害における応急復旧活動 ((一社)杵島建設業協会)

令和元年 8 月 28 日、九州北部で発生した線状降水帯により、佐賀県では、過去に例のない大雨となり、県内各地で大規模な浸水被害が発生した。

特に被害が大きかった武雄・杵島地区の杵島建設業協会は、甚大な浸水被害を受けた会員もいる中、まずは活動可能な会員が、近隣の被害箇所を受け持つ形で浸水や土砂崩れ等への対応を開始した。同地区では、鉄工所からの重油流出事故が発生し、河川へのポンプ排水が制限される中、会員各社は、広範囲な被害箇所での応急復旧や重油の除去作業、災害ゴミの集積・運搬、交通整理など長期間にわたって対応し、復旧に貢献した。



杵島地区の浸水被害



河川敷での伐採・重油処理

## (2) 地域活性化への取組

### 事例 A2-01 : 福島県

#### 小学校のグラウンド整備活動 (福島県建設業協会若松支部)

福島県建設業協会若松支部では、平成 28 年より、「春の小学校グラウンドふらっと作戦」と題して、小学校のグラウンド整備活動を行っている。

これは、地域社会への貢献と建設業 P R を目的に、地元の小学校 (会津若松市内 3 校、近郊町村 2 校) において、春の運動会開催前に、グラウンドの整備 (砂の補充・敷均し、整地、除草)、砂場の掻き起こし、周辺側溝の土砂上げを行う活動で、終了後は、使用したレーキ 10 本を各学校に寄贈している。

建設業独自の活動として好評で、同支部は今後も継続していきたいとしている。



砂敷均し (神指小学校)



側溝の土砂上げ (永和小学校)

### 事例 A2-02 : 熊本県

#### サイクリング大会の共催 (熊本県建設業協会人吉支部)

熊本県建設業協会人吉支部は、地域活性化のイベント『「日本でもっとも豊かな隠れ里』サイクリング in ひとよし球磨』を共催している。

この大会は、平成 27 年、同支部が球磨川サイクリングロードの利活用の促進を図ろうと企画・開催した「ゆっくり・ほっ栗・サイクリング」を発展させたもので、今では、日本遺産の人吉球磨への観光客の誘致に繋がる重要なイベントとなっている。

令和元年度は、10 月 27 日、全国から約 700 人が参加して開催され、同支部は、バイクスタンドの設置、駐車場の整備、補給施設の設営等、建設業の得意分野で大会を支えた。



バイクスタンドの設置



サイクリングコースガイド

### (3) 環境美化・保全活動

#### 事例 A3-01 : 岩手県

##### 道路の清掃美化と危険箇所の確認活動（岩手県建設業女性マネジングスタッフ協議会大船渡支部）

岩手県建設業女性マネジングスタッフ協議会大船渡支部は、平成 6 年度より、地元道路の清掃美化と危険箇所の確認活動を行っている。

この活動は、震災復興中も継続され、今後も活動を定期的に行っていく予定である。また、所管の道路管理先からは高く活動の成果を認められている。



歩道わきの除草



歩道のごみ拾いと危険箇所の確認

#### 事例 A3-02 : 山形県

##### 児童生徒とともに河川・公園の清掃美化活動（山形県建設業協会鶴岡支部青年部）

山形県建設業協会鶴岡支部青年部では、鶴岡市内の小学生や高校生との協働作業により、河川・公園の清掃美化活動を行っている。

- ①山形県ふるさとの川愛護活動支援事業：市立大山小学校の児童とともに、大山川の河川敷草刈り・缶拾い、橋の塗装等を行う。（平成 20 年より）
- ②鶴岡公園ボランティア環境美化活動事業：県立鶴岡工業高校・鶴岡中央高校の生徒とともに、鶴岡市が管理する鶴岡公園内の清掃・設備の保全作業等を行う。（平成 15 年より）
- ③自然体験活動（自然体験学習）事業：市立藤島小学校の児童とともに、生き物観察など地域に密着した諸学習を行う。（平成 26 年より）



山形県ふるさとの川愛護活動支援事業



鶴岡公園ボランティア環境美化活動事業

### 事例 A3-03 : 栃木県

#### 道路の清掃美化活動（（一社）栃木県建設業協会日光支部）

栃木県建設業協会日光支部では、日光市建設業組合と共催で、日光市内の道路クリーンアップキャンペーンを毎年実施している。

令和元年度は、11月6日、同支部、日光市建設業組合、栃木県日光土木事務所、日光市役所より総勢113人が参加して、国道119号・120号・市道大谷川右岸線の日光市七里地区から馬返しまで約12kmの区間で、歩道や路肩のごみを拾い集めた。回収した可燃ごみ6袋、不燃ごみ6袋は、同支部が手配したトラックで処分場まで運搬した。

同支部は、このキャンペーンをCCI（魅力ある建設業）活動の一環と位置付けており、今後も継続することで、建設業の地位向上を図りたいと考えている。



歩道のごみ拾い



クリーンアップキャンペーン参加者

### 事例 A3-04 : 栃木県

#### 「山あげ祭」に向けた道路の清掃美化活動（（一社）栃木県建設業協会烏山支部）

栃木県建設業協会烏山支部は、平成25年度より、那須烏山市が全国に誇る「山あげ祭」の開催前に、祭りの会場となる道路の清掃美化活動（クリーン作戦）を実施している。

「山あげ祭」は、道路上に配置した「山」と呼ばれる移動式の舞台装置の前で歌舞伎を上演する「山あげ行事」（国の重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産）と、八雲神社の神輿などで構成される伝統行事である。

同支部は、関係機関・団体と連携して、毎年総勢100人程度で道路上のごみ拾いや歩道の除草を行うことで、地域貢献とともに道路の必要性や道路管理の重要性をPRしている。



歩道のごみ拾い



クリーン作戦参加者

### 事例 A3-05 : 栃木県

#### 河川・道路の清掃美化活動（（一社）宇都宮建設業協会）

宇都宮建設業協会は、平成 17 年、栃木県及び宇都宮市と愛リバー・愛ロード活動の合意書を取り交わし、以降、定期的に河川や道路の清掃美化活動を実施している。

この活動は、毎年数回、市内を流れる田川の幸橋から押切橋までの両岸で、草刈り、ごみ拾い、土砂の除去、清掃を行うもので、集められた雑草やごみは、会員企業が提供した車両で回収し、適正に分別して処分場へ搬入している。特に、7月の川の日には「田川クリーンアップ大作戦」として河川の清掃範囲を拡大し、11月の土木の日には、河川と併せて市内各地の道路の清掃も行っている。

同支部は、会員企業が丸となって取り組むこの活動を、今後も続けたいとしている。



遊歩道の草刈り・清掃



堤防法面のごみ拾い

### 事例 A3-06 : 山梨県

#### 道路の清掃美化活動（（一社）甲府地区建設業協会）

甲府地区建設業協会は、地域環境の美化・保全を目的に、平成 23 年度より毎年、会員企業約 80 社、約 90 人が参加して、南アルプス市楡形 7 号線の落ち葉や枯れ草、可燃物及び不燃物ごみの回収、集水桝の清掃などの活動を行っている。

同協会は、こうした地域社会への貢献活動を継続することで、会員の環境美化・保全に対する意識を向上させるとともに、地域からの信頼確保と建設業のイメージアップに繋がっていきたいと考えている。



歩道の落ち葉・枯れ草・ごみの回収

## 事例 A3-07 : 岐阜県

### 河川の清掃美化と植栽活動（（一社）郡上建設業協会）

岐阜県の郡上建設業協会は、平成 15 年、協会と会員企業が合同で ISO14001 の認証を取得し、以降、河川清掃や植栽など地域の環境美化活動に積極的に取り組んでいる。

この活動は、清流長良川の最上流で事業を営む建設業団体として、豊かな水と自然環境を将来にわたって守り継ぐことを目的としており、今では、地元の金融機関、漁業組合、商工会、郡上市、岐阜県等の参加を得て、地域ぐるみの活動として根付いている。

河川清掃活動については、郡上市内を流れる河川の一斉清掃として実施しており、令和元年度は、5 月 18 日と 25 日、協会員を中心に延べ 855 人が参加して実施した。

植栽活動については、地元の関係団体と協力して「郡上地域活性化協議会」を設立し、会員企業の若手社員が中心となって、桜やもみじの植樹を行い、里山の形成に取り組んできた。令和元年度は、5 月 18 日、郡上八幡駅周辺と大和町の道の駅周辺でシバザクラの植栽を実施した。

同協会では、こうした環境美化活動を業界の CSR と捉え、積極的に取り組むことで、3K と言われる建設業のイメージを一掃し、若年層の雇用確保を図りたいと考えている。



河川の一斉清掃



一斉清掃で集められたごみ



シバザクラの植栽（大和町やすらぎ館裏）



シバザクラの植栽（郡上八幡駅）

### 事例 A3-08 : 富山県

#### 日本の渚百選「松田江の長浜」の清掃美化活動（富山県建設業協会氷見支部青年部会）

富山県建設業協会氷見支部青年部会では、平成 27 年より毎年、全国建設青年の日（7 月 28 日）に合わせて、市内の「松田江の長浜」の清掃美化活動を実施している。

「松田江の長浜」は、松田江浜から島尾海岸に至る約 3 kmの砂浜で、日本の渚百選、白砂青松百選に選ばれており、県内随一の海水浴場でもある。

令和元年度は、海水浴シーズン前の 7 月 26 日、部会員を中心に約 30 人が参加して、砂浜に打ち上げられた漂着ごみを回収した。その際、大きな流木等の撤去には、会員企業のショベルカーなどを活用することで、建設業の強みを積極的にアピールしている。

同部会は、この活動が海水浴客の誘致と地域振興に繋がることを願っている。



漂着ごみの回収



砂浜清掃美化活動参加者

### 事例 A3-09 : 滋賀県

#### 甲賀市立「みなくち子どもの森」の除草活動（（一社）滋賀県建設業協会甲賀支部）

滋賀県建設業協会甲賀支部では、平成 23 年より、里山の自然環境が残る甲賀市立「みなくち子どもの森」で、毎年夏に除草活動を実施している。

令和元年度は、7 月 8 日、NPO法人甲賀ユートピアネットワークと合同で約 70 人が参加して、生い茂った雑草を刈り取り、美しい森を蘇らせた。

同支部は、市内の小中学校のグラウンド整備活動も実施しており、今後も子どもたちが安全に楽しく学習できる環境作りに貢献したいと考えている。



雑草の刈取り



除草活動参加者

## 事例 A3-10 : 京都府

### 道路の清掃美化活動（京都府建設業協会京丹後支部）

京都府建設業協会京丹後支部では、道路ふれあい月間（8月）に合わせて、京丹後市内で道路の清掃美化活動を実施している。

令和元年度は、8月1日、猛暑の中、支部会員24人が参加して、道路や歩道に捨てられたたばこの吸い殻や空き缶などを拾い集め、合わせて道路の点検を行った。回収したごみを運搬するダンプやトラックには「道路ふれあい月間」の横断幕を掲示し、住民への道路愛護思想の普及と正しい利用の啓発を図った。

同支部は、この活動によって、道路の役割と重要性を訴えていきたいと考えている。



道路わきのごみ拾い



道路清掃美化活動参加者

## 事例 A3-11 : 山口県

### 河川の清掃美化活動（山口県建設業協会玖珂支部）

山口県建設業協会玖珂支部では、昭和63年より、支部会員を中心とした社会貢献活動として、河川の清掃美化活動を実施している。

令和元年度は、6月21日、支部会員企業10社より総勢36人が参加し、岩国市玖珂町から周東町にかけて島田川周辺約10kmの範囲で、ごみ拾いや除草作業などを行った。5時間にわたる作業の結果、2tトラック10往復分、約5tのごみと刈草を回収した。

同支部では、西日本豪雨で大きな被害を受けたことから、こうした活動を通じて護岸の弱くなっている箇所を念入りにチェックするなど、常に地域の安全を見守り、有事の際には会員同士の連携とフットワークを活かして、迅速に対応することを心掛けている。



島田川周辺の除草

#### (4) 建設業のイメージアップ・広報活動

##### 事例 A4-01：栃木県

###### 高校生を対象とした仕事説明会・現場見学会の開催（一社）栃木県建設業協会芳賀支部

栃木県建設業協会芳賀支部は、地元の高校生に建設業の役割や魅力を伝えようと、平成14年度より、建設系の1年生を対象とした仕事説明会・現場見学会を開催している。

令和元年度は、9月に、「土木工事・建築工事とは」をテーマとした仕事説明会を開催し、会員企業の第一線で活躍している講師が、建設業の面白さや大切さを伝えた。また、10月には、工事現場4ヶ所を巡る現場見学会を開催し、専門業者の協力を得て、河川工事で導入しているドローンを使った最新技術などを紹介した。

同支部は、この活動によって建設業に興味を抱く若者が増えることを期待している。



仕事説明会（真岡工業高校）



現場見学会（真岡市新庁舎建設工事）

##### 事例 A4-02：栃木県

###### 小学生を対象とした防災講習会への協賛（一社）栃木県建設業協会那須支部

栃木県建設業協会那須支部は、平成28年度より、管内の小学生を対象とした防災講習会に協賛して、災害対応における建設業の役割紹介や体験学習を行っている。

この講習会は、大田原土木事務所の防災講習会と、それまで同支部青年の会が実施していた総合学習支援活動を統合したもので、地元の警察、消防、市役所も参加している。

令和元年度は、7月16日、大田原市立蛭田小学校の全児童を対象に、土砂災害講座、建設機械の試乗体験、ドローン操作体験、土のうづくり体験などを実施した。

同支部は、この体験活動を将来の人材確保にも繋げたいと考えている。



ドローン操作体験



大型土のう作成機の紹介

ＪＲ長野駅での「土木の日」イベント開催（（一社）長野県建設業協会青年部会・女性部会）

長野県建設業協会青年部会・女性部会は、令和元年 11 月 16 日、長野県建設部と共催でＪＲ長野駅のコンコースにて、建設産業をＰＲする「土木の日」イベントを開催した。

初の開催となったこのイベントは、日頃土木と触れ合う機会の少ない人々に、建設業の役割と重要性を理解してもらおうとともに、子どもたちに興味を持ってもらうことを目的としており、会場は親子連れや学生など多くの来場者で賑わった。長野県では、10 月の台風 19 号による記録的な豪雨で、東北信地域を中心に甚大な被害が発生したこともあって、会場では、災害復旧に携わる建設業への期待の声が多く寄せられた。

イベントの主な内容は次の通り、多彩なものとなった。

- ①長野市のデザイン学校の生徒たちが描いた「土木の日」ポスターの展示と表彰
- ②信州大学の学生たちがデザインした５種類の「ハナサカ軍手」の配布
- ③建設業の役割を写真と解説で紹介したパネル型オブジェの展示
- ④土石流対策模型実験、リニア模型展示などを行う長野県建設部のブース出展
- ⑤「建設業キャリアアップシステム」の紹介、就業履歴登録体験などを行う（一財）建設業振興基金のブース出展
- ⑥ＩＣＴ建機やドローンなど最新の建設技術を紹介する（株）コマツのブース出展
- ⑦新建新聞社提供の台風被害の復旧関係者あてに送るキットカットに応援メッセージを書くコーナー
- ⑧もう中学生（吉本興行／長野県出身）のミニコント上演

なお、イベントの計画から当日までの様子は、地元の民放テレビ番組として放映され、それを収録したＤＶＤが、地元の学校や関係団体等に配布された。



来場者で賑わう長野駅コンコース



「土木の日」ポスターの展示と表彰



建設業を紹介したパネル型オブジェ



キットカットに書かれた応援メッセージ

## (5) その他

### 事例 A5-01 : 岐阜県

#### CSF（豚熱）発生に伴う防疫措置対応（（一社）揖斐建設業協会）

令和元年8月16日15時15分、お盆の休暇中であつた揖斐建設業協会に、揖斐農林事務所から、食欲の不振な豚が大量に発生したため、明朝にかけて検査を実施するとの第1報が入つた。翌17日0時10分、同協会事務局担当者に、揖斐郡揖斐川町谷汲においてCSF（豚熱）の発生が確認されたとの連絡があり、防疫措置対応が要請された。

17日朝、同協会は役員及び関係者が緊急集合し、作業責任者及び作業工程を決定の上、必要人員の確保、機材の準備等を進め、16時より第1班による埋却作業を開始した。

連日の猛暑の中、劣悪な環境下での作業となり、熱中症への対策等で作業工程は遅れがちではあつたが、1日3交代制のシフトで、18社から延べ211人を動員して対応し、発生から6日後の23日、全処理対象3,600頭の埋却作業を完了した。



埋却用機材の搬入



防護服を装着しての作業打合せ